

# おおいたツーリズム大学 第4回オンライン講座 発言要旨

日 時：1月28日 10時00分～12時00分

議 題：コロナ・GoToの対応状況とアフターGoToに向けた取組について

参加者	発言要旨
<b>本田 麻也氏</b> (第3期生／(有)えびすや旅館)	<p>【コロナ】3月以降～宿泊減。時間ができたため、手作りマスクやお手紙をお客様に送付。</p> <p>【GoTo】単価の高い宿に動き、新規顧客が多かった。＝新規顧客の獲得に（正月リピーターとして）</p> <p>【アフター】「健康」になって帰る（温泉、自然、食）→リピーターが増えると考える。 東京のお客様も定期的に来て健康のためならお金を使うひとが増えている。</p>
<b>宇佐美 裕之氏</b> (第3期生／(有)石仏観光センター郷膳うさ味)	<p>【コロナ】バス旅行の高齢者がメイン。2020年1月～お客様は減り、3月以降取消し増。 現在は土日のみ営業。食事処、弁当、焼き物等しているが、弁当や焼き物が好調。</p> <p>【GoTo】クーポンの影響は2020年秋頃～。修学旅行生（地元や県内の学校）が増えた。</p> <p>【アフター】観光＋もう一つ仕事を持つ。団体ではなく少人数をターゲットにする。 お弁当、仕出し引き続き継続する。WEBで商品を販売したり、ケータリングを行う。</p>
<b>ラジタ・サダルワン氏</b> (第12期生／(株)ふたばタクシー 旅行事業部)	<p>【コロナ】タクシーは昼はいいが、夜は戻らず、ドライバーの勤務体系を変更して運営中。 HPでコロナ対策をアピールし、お客様に安心安全な旅を提供できるようにしている。</p> <p>【GoTo】元々の利用者にお得さをアナウンス。日帰り旅行は旅行先でチケットが利用できない。</p> <p>【アフター】ライバル社（大手4社）とも「協業」し、サブスクリプションを来月4月～開始予定。</p>
<b>黒木 陽介氏</b> (第1期生／(社)日田市観光協会)	<p>【コロナ】日田市全体で、日田「あんしん旅」7つの宣言を掲げ、受入サイドの体制を整えた。 7月豪雨災害以降、天ヶ瀬地区は秋口に向けてリニューアルを目指している所が多数。</p> <p>【GoTo】子どもクーポン等、家族をターゲットの取組メイン。GOTOと併せた連携の効果あり。</p> <p>【アフター】総合的な地域の底力を試される。地域観光素材の磨きが大切で、日田では「自然」をキーワードとし素材の洗い出し、注目されていなかった所の掘り起こしを行う。</p>
<b>鶴田 浩一郎氏</b> (ツアーアドバイザー／社団法人オンパク)	<p>【コロナ】2020年5月は80%減、6月は70%減。7～8月は4、5割減。9月下旬から人が動き出した。 11月は2割減に戻る（日本人のみ）。12、1月は大変な目にあっている。 もともとインバウンドが全体の2割ほどを占めていた状況で、11月は国内が前年並み。</p> <p>【GoTo】GOTOは1.3兆円に補正がついて計2.6兆円であり、2021年6月以降も予算に余裕あり。 GOTOで動いた人は、8,200万人。外国人観光客が戻るの、2022年頃～だと予想される。 九州内移動が7割。2020年11月頃～関東客増。 高額施設にバブル到来し、籠もり系旅館が増えたが、お客様とのミスマッチも発生。</p> <p>【アフター】金融危機デフレ、リーマンショックが戻るまでに4年～5年かかっている。 （金融が戻らない→所得が上がらない→観光客が増えない） 海外は最低3年はかかる。3年かかるとしたら、運転資金と設備資金の調達を計画的に行う必要がある。不良債権を懸念し、4年目以降の目算を立てておかねばならない。 日銀によると、金融はダメージが少ないため、日本人のみであれば、22年度中には観光も戻る可能性あり。全国的な傾向として、今はコロナバブルで高級宿の需要がある。 今後も条件は次々と変わっていく。条件によって流行る旅館と流行らない旅館が分かれる。</p>
<b>チューター</b>	<p>【アフター】元の業態に戻る必要はなく、新しい取組や副業が必要になるのではないかと。 →新たな仕事も出てくる。 新しい考え方が重要で、アフターGOTOに向け、本格的に大企業の本社移転の促進が地方にとっては大切。人の移動もある程度は重要なので、地方（自然豊かな空港近郊）で生産性を上げる。DX化など新しいテクノロジーを利用することも重要。</p>
<b>西村学長</b>	<p>【総括】ミクロとマクロの話ができ、グローバルな見方やデータ、各人の努力が見え、このような議論できたことは素晴らしい。 置かれている状況は様々であったが、各業種の中期的な見通しを知ることができた。 工夫を共有することは新しい方向性を見出す良い機会であり、仲間だからこそ共有できた有益情報が多かった。定期的に必要なである。</p>